

2026年1月21日

HACCPリーダー各位

一般財団法人日本要員認証協会  
マネジメントシステム審査員評価登録センター(JRCA)

## HACCPリーダーのCodex HACCP表記変更に関するご案内

HACCPリーダー(食品安全管理技術者)の資格基準が参照している「コーデックス 食品衛生の一般原則」ですが、2003年の改訂後に、2020年と2022年に改訂がなされております。

これまでHACCPリーダーの登録証明書、審査員カードはCodex HACCP:2003の表記となっておりましたが、下記の通り、2026年4月1日以降に発行する登録証明書、審査員カードの表記を「GENERAL PRINCIPLES OF FOOD HYGIENE(CXC 1-1969)」に変更いたします。

なお、今回の変更にあたり特別な申請手続き等は不要です。

記

### 1. 変更内容

#### a) 登録証明書

現表記:適用基準(Applicable criteria) JRCA FME 100

参照 (Reference) ANNEX TO CAC/RCP 1-1969(REV.4-2003)

Codex HACCP:2003

新表記:適用基準(Applicable criteria) JRCA FME 100

参照 (Reference) GENERAL PRINCIPLES OF FOOD HYGIENE (CXC 1-1969)

#### b) 審査員カード

現表記:規格番号 Codex HACCP:2003

新表記:規格番号 GPFH(CXC 1-1969)

※GPFH:GENERAL PRINCIPLES OF FOOD HYGIENE

### 2. 変更時期について

2026年4月1日以降、新規登録及び資格の更新時に発行する登録証明書、審査員カードは上記の新表記となります。

### 3. その他

Codex HACCPの2020年、2022年の改訂内容については別紙を参照願います。

### 4. 問い合わせ先

(一財)日本要員認証協会 マネジメントシステム審査員評価登録センター FSMS 担当

メール:jrca-fsms-mail@jrca-jsa.or.jp

以上

## 別紙 Codex HACCP の改訂内容について(情報提供)

### ①2020 年改訂

コーデックスの食品衛生の一般原則(GPFH Rev.2020)は2020年にコーデックス総会で最終採択され、第1章適正衛生規範(GHP)および第2章 HACCP 適用の指針(7原則・12手順)から構成されている。以前は付属書であった「HACCP 適用システムに関するガイドライン」が、本体の第2章として統合され、GHP(適正衛生規範)と HACCP が一体となったフードハイジーンシステムとして運用されることが明確になった。主な変更点は以下のとおり。

#### 【共通部分】

- ・食品安全へのマネジメントコミットメント(食品安全文化を含む)が導入された。
- ・一般原則が新設された。
- ・文書全体の定義が示された(以前は本体文書と付属文書それぞれに定義があった)。
- ・より大きな注意を払う必要があるGHP(適正衛生規範)の概念が導入された。例として RTE 食品に接触する機械器具や表面の洗浄については、壁や天井の洗浄などの他の領域よりも大きな注意が必要であり、モニタリングや検証の頻度を上げることが記載されている。ISO22000 では OPRP プランで管理することができる。

#### 【定義】

- ・HACCPの定義は、新しくHACCPプランとHACCPシステムの二つの定義となった。
- ・GHPとHACCPを合わせた Food Hygiene System の定義が新設された。
- ・Significant Hazard の定義が新設された。

#### 【HACCP 部分】

- ・ハザード分析の重要性およびハザード分析では重要なハザードを特定することが強調された。
- ・原則6に妥当性確認と検証のサブセクションを設けた。
- ・GHP の管理手段と CCP の管理手段の対比表が作成された。

### ②2022 年改訂

附属文書IV -CCP を決定するためのツールとして、CCP 決定系統樹の一例と CCP 決定ワークシートの一例が追加された。

以上